

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第37週の発生動向

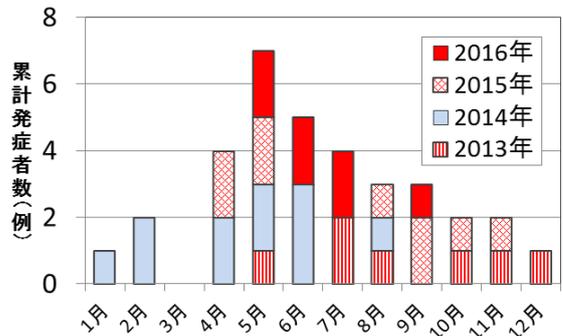
トピックス

・**重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)** (全数報告の感染症)の報告が宮崎市保健所から1例あった。県内での報告は今年7例目で、累計34例(平成25年3月届出開始以降)となった。患者は70歳代女性で、発症は9月上旬であった。ダニの刺し口については不明、海外渡航歴はなかった。

県内のSFTS年齢別報告数(届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	10	10	9	1

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



全数報告の感染症(37週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：梅毒1例。

報告保健所	疾患名	年齢群	性別	病型・類型	症状等
宮崎市	結核	0~4歳	男	BCG骨髄炎	右大腿遠位外側に腫脹および熱感
		50歳代	女	無症状病原体保有者	-
		60歳代	女	無症状病原体保有者	-
		80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、食欲低下
宮崎市	重症熱性血小板減少症候群	70歳代	女	-	発熱、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少
宮崎市	梅毒	40歳代	男	早期顕症梅毒(1期)	初期硬結、硬性下疳

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は666人(定点当たり22.4)で、前週比97%とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は水痘とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

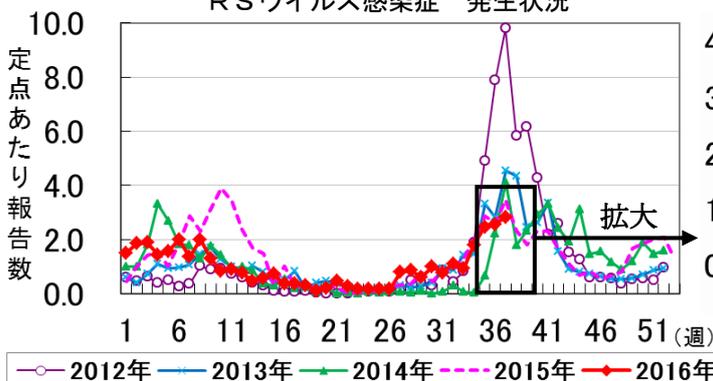
報告数は102人(2.8)で、前週比111%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.2)の約0.7倍であった。日向(10.0)、延岡(9.8)保健所からの報告が多く、年齢別は1歳が全体の約4割を占めた。

【流行性耳下腺炎】

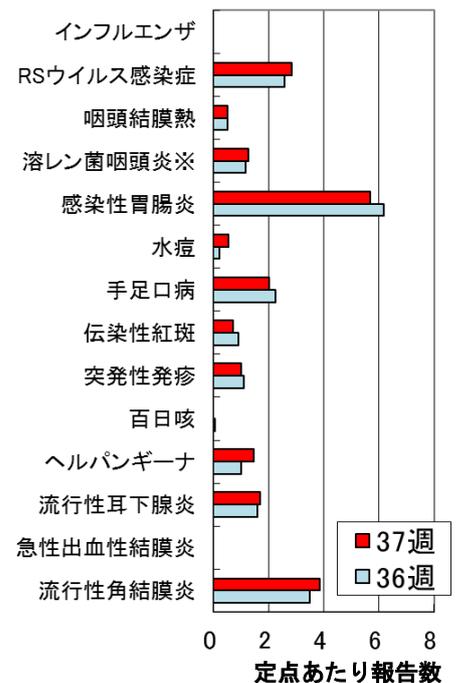
報告数は61人(1.7)で、前週比107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.69)の約2.5倍であった。高千穂(9.0)、小林(3.3)、高鍋(3.0)保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

RSウイルス感染症 発生状況

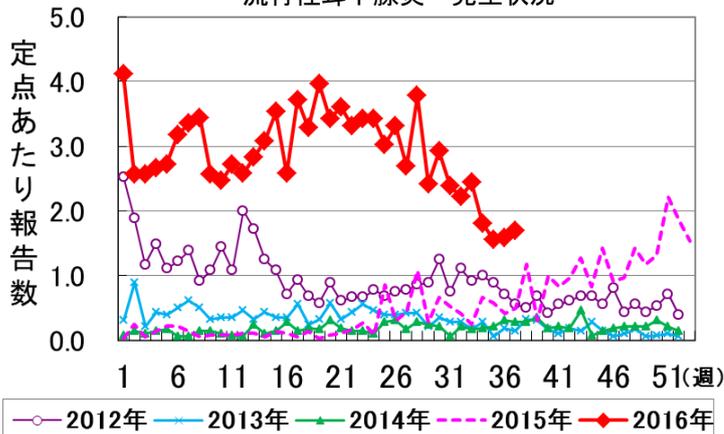


《前週との比較》

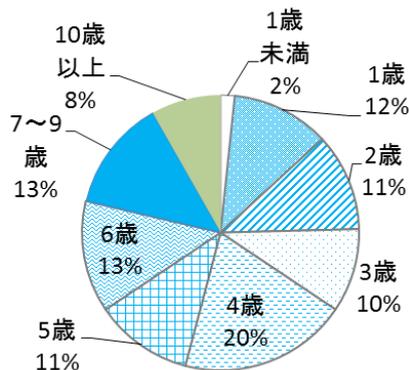


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

流行性耳下腺炎 発生状況



流行性耳下腺炎 年齢群別割合



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市(4例)、高鍋(2例)保健所から報告があった。0～4歳、5～9歳、10歳代が各2例ずつであった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	流行性耳下腺炎(3.3)
高鍋	流行性耳下腺炎(3.0)
高千穂	流行性耳下腺炎(9.0)
日向	伝染性紅斑(2.0)
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

全国 2016 年第 36 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 36 週)

1類感染症	報告なし	
2類感染症	結核	377 例
3類感染症	コレラ	1 例
	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	7 例
	つつが虫病	2 例
	マラリア	4 例
5類感染症	アメーバ赤痢	17 例
	急性脳炎	9 例
	後天性免疫不全症候群	14 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例
	播種性クリプトコックス症	1 例
	麻しん	23 例
	細菌性赤痢	1 例
腸管出血性大腸菌感染症	191 例	
A型肝炎	3 例	
チクングニア熱	2 例	
デング熱	7 例	
日本紅斑熱	9 例	
レプトスピラ症	2 例	
ウイルス性肝炎	5 例	
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例	
クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	
ジアルジア症	1 例	
侵襲性肺炎球菌感染症	13 例	
破傷風	4 例	
梅毒	68 例	
風しん	2 例	

麻しんの報告数は23例で前週比約0.9倍と減少した。兵庫県(11例)、大阪府(6例)、千葉県(3例)からの報告が多く、九州地方からの報告はなかった。年齢別では10歳未満が全体の約3割を占めた。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比101%とほぼ横ばいであった。前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。減少した主な疾患はヘルパンギーナと咽頭結膜熱であった。

RSウイルス感染症の報告数は3,347人(1.1)で前週比123%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.71)の約1.5倍であった。新潟県(3.5)、宮崎県(2.6)、岩手県(2.2)からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第37週(9月12日～9月18日)

疾病名		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	92	102	9	4	39	4	3	2		40	1
	定点あたり	2.56	2.83	0.90	0.67	9.75	1.33	1.00	0.50	0.00	10.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	18	18	4	1	2	7	1	2		1	
	定点あたり	0.50	0.50	0.40	0.17	0.50	2.33	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	42	46	19	5	3	3		14		1	1
	定点あたり	1.17	1.28	1.90	0.83	0.75	1.00	0.00	3.50	0.00	0.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	222	204	48	46	5	17	35	18	6	25	4
	定点あたり	6.17	5.67	4.80	7.67	1.25	5.67	11.67	4.50	6.00	6.25	4.00
水痘	報告数	8	19	6	4	8			1			
	定点あたり	0.22	0.53	0.60	0.67	2.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	81	72	25	7	17	7	1			15	
	定点あたり	2.25	2.00	2.50	1.17	4.25	2.33	0.33	0.00	0.00	3.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	32	26	4	1	6	1	4	2		8	
	定点あたり	0.89	0.72	0.40	0.17	1.50	0.33	1.33	0.50	0.00	2.00	0.00
突発性発しん	報告数	40	36	11	5	5	4	2	2		7	
	定点あたり	1.11	1.00	1.10	0.83	1.25	1.33	0.67	0.50	0.00	1.75	0.00
百日咳	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	36	53	8	5	17	7		2	2	8	4
	定点あたり	1.00	1.47	0.80	0.83	4.25	2.33	0.00	0.50	2.00	2.00	4.00
流行性耳下腺炎	報告数	57	61	7	4	8	2	10	12	9	9	
	定点あたり	1.58	1.69	0.70	0.67	2.00	0.67	3.33	3.00	9.00	2.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	21	23	22		1						
	定点あたり	3.50	3.83	7.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	14	6	4					2			
	定点あたり	2.00	0.86	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～37週)

2類感染症	結核	148例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	7例(1)
	つつが虫病	6例	日本紅斑熱	3例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	12例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	急性脳炎	10例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	8例(1)	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	1例				

()内は今週届出分、再掲